

## 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

教室における IPMN 手術症例の検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2005年1月から2019年8月に当院で膵 IPMN の手術を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

【背景、目的】膵嚢胞性疾患には腫瘍性、非腫瘍性の疾患が含まれるが、腫瘍性病変のなかで比較的多いものに膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) があります。IPMN の外科治療は、病理組織学的に浸潤癌や腺腫にまでおよぶ多彩な組織像を呈するため、悪性度に応じた術式が必要となります。2009年より積極的に腹腔鏡下膵切除も導入しており、IPMN 手術症例について検討します。【対象】2005年から昭和大学病院にて施行された膵切除症例のうち、IPMN 症例について検討します。鏡視下手術の適応は、術前診断で良性疾患、良悪性境界疾患、悪性疾患は小膵癌 (TS1) に限り対象とし、IPMN に対する手術適応、至適術式、至適手術時期について後方視的に検討します。

### 研究期間

2005年1月1日～2025年12月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢、画像診断、IPMN (膵管内乳頭粘液性腫瘍) の臨床学的分類、病理学組織学的・免疫学的分類、病理標本、病理画像、手術時間、出血量、術式、合併症、臨床学的経過、血液検査等

資料：血液、手術で摘出した組織

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

所属：昭和大学病院（昭和大学医学部外科学講座消化器・一般外科学部門） 氏名：榎並 延太

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8541